



## 開催趣旨

深い人生の真理を語り、今に至るまで色あせない、古くて新しい教養の書『論語』。

漢学塾を基礎とする二松學舎が、『論語』と古典教養の普及をめざし『論語』の学校—RONGO ACADEMIA—を開催。

『論語』の解釈を、より分かりやすく解説すると同時に、『論語』を生きた知恵として実社会に実践している方々のお話を紹介したいと考えています。

SBIホールディングス代表取締役執行役員CEO

**北尾 吉孝** (きたお・よしとか)

君子を目指せ 小人になるな  
—論語にみるリーダー像—

講義内容

現在の社会的混乱の根本原因は、さまざまな組織の上には立つ人が「君子」ではなく、「小人」になってしまったことにあると考えています。このため、今日の日本には「君子」という言葉で象徴される人物の涵養こそが希求されていると確信しております。

先祖が残した叡智である『論語』を借りて、人間を修め、天命を知り、「君子」を目指しともに学んでいこうではありませんか。

プロフィール

1951年 兵庫県生まれ。74年、慶應義塾大学経済学部卒業。同年、野村証券入社。

78年、英国ケンブリッジ大学経済学部卒業。89年ワッサースタイン・ペレラ・インターナショナル社(ロンドン) 常務取締役。

91年、野村企業情報取締役。92年、野村証券事業法人三部長。

95年、孫正義氏の招聘によりソフトバンク入社、常務取締役に就任。

現在、ベンチャーキャピタルのSBIインベストメント、オンライン総合証券のSBI証券、インターネット専門銀行の住信SBIネット銀行、ネット損保のSBI損保、ネット生保のSBIアクサ生命等の革新的な事業会社を傘下に有し、金融、不動産、生活関連サービスなどの事業を幅広く展開する総合企業グループ、SBIホールディングス代表取締役執行役員CEO。一方で、財団法人SBI子ども希望財団理事、SBI大学院大学の学長も務める。

二松學舎大学名誉教授 **戸川 芳郎** (とがわ・よしお)

公治長の解鳥語について 一經学と説話—

講義内容

中国古典学は、目録学(古い書物の由来や版本の優劣、系統等から、その資料的価値を確定する学問)・校勘学(同じ書物でありながら複数の異なるテキストがある場合、より正しい本文校正をする学問)・訓詁学(中国の漢・唐代に、経書の一字一字の意味を研究した学問)から成ります。いずれも一般の方には聞きなれない「学」ですが、この100年来の中国古典(漢文の

世界)の開放には、これら三学は不可欠の研究法です。

今回は、『論語』の「公治長第五」を取りあげ、孔子の女婿となった、鳥と会話が出来るという公治長の、珍奇な行状について、その古典学を活用し考察します。

プロフィール

大阪市出生。東京大学文学部中国文学科卒業。京都大学大学院文学研究科哲学(中国哲学史)専攻修士課程修了。お茶の水女子大学助教授、東京大学教授を経て、二松學舎大学大学院文学研究科中国学専攻教授。二松學舎大学名誉教授。